



九曹青ソフトボール大会にて

熊曹青の ココが すばらしい

熊本県の曹洞宗には第一宗務所と第二宗務所ふたつの宗務所があり、それぞれに青年会が存在します。第一宗務所のそれが「二青会(いっせいかい)」で、第二宗務所のそれが「天声会(てんしょうかい)」です。ほぼすべての熊曹青会員が、どちらかの青年会に所属しています。

ちなみに、「二青会」は、熊本・阿蘇・八代・人吉球磨・小川・山鹿地域等の会員で成り立ち、「天声会」は天草地域の会員で成り立っています。

各会とも、ほぼ毎月研修をして

そうせいサポーターズより

青年宗侶へ一言

古希が近づき、そろそろ旅支度をと思いながらも、自分だけはまだまだという二律背反の心情の今日この頃、人生とはまさしく走馬燈の如くであり、時は人を待たずの一語に尽きます。さて、青年宗侶に望むことは、「仏教とはなんぞや?」という基本教義を徹底的に勉強し、実社会に役立たせることです。インド・チベット・中国・日本…二千五百年の時を超えて今も尚輝き続ける仏教の更なる発展と青年宗侶の活躍を期待しております。



田中 清光
熊本県第二宗務所
所長

社会の要望に応える活動を



荒木 正昭
第13期
全国曹洞宗青年会会長

熊本県曹洞宗青年会は、現代社会に密着した行事を中心に活発に運営されています。その中でも、「夏休み子ども禅の集い」は、各地区の寺院を会場にして毎年夏に一泊二日で開催され、大勢の子ども達が参加して有意義な時間を過ごしています。その他の研修会や法要もしっかりやり、全曹青や九州曹青とのつながりも深く広いものがあります。今後は更に、様々な社会の要望に応えられるような青年会独自の活動をご期待致します。

熊曹青の 課題

やはり、熊本県の曹洞宗寺院も、北から南、東から西と広域にわたり存在するため、青年会員が集まるとなれば中心地である熊本市になることが多いのですが、特に交通手段の未発達な天草地域の会員・人吉球磨方面の会員においては、ひとつの会議に参加するだけでもかなりの時間を要します。また、災害時の急なボランティア活動等において俊敏さに欠けるといふ課題があります。

しかし、前述したように、二つの宗務所に二つの青年会が存在し、日頃から研鑽を積み、横のつながりを大切に行っていることを最大の長所として、今後は、一つの県の青年会としての結束を更に固り、衆生済度のために邁進していきたいと思えます。

熊曹青は、今から29年前、会員相互の親睦と研鑽を図るために結成されました。熊本県内は第一・第二宗務所に分かれており、それぞれ、一青会・天声会としての活動も活発に行っております。

「希望がない」と言われる今の時代にあつて、自らに与えられた命を尊び、人と人とのつながりの中で力強くその生を全うしていくことに眼を向け、それをお伝えすることが、今、私たち青年宗侶に与えられた課題の一つと考えます。

熊曹青 メンバーより

熊曹青は、今から29年前、会員相互の親睦と研鑽を図るために結成されました。熊本県内は第一・第二宗務所に分かれており、それぞれ、一青会・天声会としての活動も活発に行っております。

「希望がない」と言われる今の時代にあつて、自らに与えられた命を尊び、人と人とのつながりの中で力強くその生を全うしていくことに眼を向け、それをお伝えすることが、今、私たち青年宗侶に与えられた課題の一つと考えます。



梅本 実道
熊本県曹洞宗青年会
会長

寺院用仏具・仏壇、修理・製造 株式会社 鳳龍堂

〒963-8061 郡山市富久山町福原字福原62
フリーダイヤル 0120-228602
TEL 024 (922) 8602
FAX 024 (939) 1673
定休日・毎週日曜日 ●営業時間 AM9:00~PM6:00